

所 信 表 明

本日、ここに町長就任後初めての議会定例会にあたり、御挨拶を申し上げるとともに、所信を申し述べ、施政の方針を明らかにし、議員の皆様方を始め、町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

先の町長選挙におきましては、多くの町民の皆様の温かい御支援をいただき、再選をさせていただきました。身に余る光栄であり、深く感謝いたしますとともに、心から厚く御礼申し上げます。

私は、今回の町長選挙において、「共にいたわり」「共に創る」「24時間まるごと守る 次世代につなぐため」といたしまして、幸田町の将来の展望が開ける輝かしいまちをつくるため「備える」ということを重要なテーマとして、次の6つの備えに取り組み、続く12の施策を提唱させていただきました。

- ①災害への備え
- ②少子化への備え
- ③高齢化への備え
- ④人口減少への備え
- ⑤ニューノーマル～新しい生き方、新しい働き方～への備え
- ⑥生活安定への備え

人々の多様性を受容し、新たなことに柔軟に対応し、挑戦できること、働き方・生き方・価値観の多様化に対応し、認め合い、支え合える、一人一人の個性が発揮される社会を目指します。

具体的施策を申し上げます。

1つ目は、「防災・減災・安全安心基盤づくり」であります。

本町はこれまでに豪雨災害や台風により大きな被害を受けてきました。最近では、風水害による被害が増加する傾向にあり、水害に備え、総合的・効果的な治水対策の取組を実施します。また、上下水道事業における管路

の強靱化・耐震化・布設替を促進します。

地震など災害時の避難に備えては、要援護者救護ネットワークのシステム化により減災対策を推進し、避難所となる施設の空調整備を進めます。また、災害時相互応援協定締結市町との連携を強化し、有事の際には円滑に対応できるよう交流を進めます。

町内の国道・県道・町道等、生活道路の早期整備促進を図るとともに、通学路の整備等、交通安全対策を推進します。

防犯については、特殊詐欺対策装置購入補助、防犯カメラの設置促進により更なる治安の維持に努めます。

地域における消防・防災機能に重要な役割を果たしている消防団については、第一分団第一部の詰所移転を検討します。

2つ目は、「都市基盤整備づくり」であります。

町内にあるJR東海道本線の幸田駅、三ヶ根駅、相見駅、そして文化交流拠点であるハッピーネス・ヒル・幸田を加えた「3駅プラス1」として、コンパクトでまとまりのあるまちづくりを推進しています。三ヶ根駅舎エレベーター設置等、JR3駅の利便性を確保していきます。

また、モビリティサービスを始めとし、移動の利便性が確保される町全体の公共交通ネットワークの充実を図ります。

人口5万人を目指し、荻谷地区区画整理事業による宅地整備を推進します。

安心して住み続けることができるよう住宅リフォーム補助を実施します。また、空き家対策として、リノベーション補助・解体補助を新設します。

3つ目は、「子育て支援」であります。

安心して子どもを産み育てることができるための支援として、妊産婦タクシー料金の助成を充実させます。

地域子育て推進事業とともに、幼児教育・保育の総合的な推進を図ります。

仕事と子育てを両立することができるよう保育所や認定こども園等の保育の場を確保するとともに、園児の給食費主食代の無償化を実施します。また、学童期における放課後児童クラブの整備を充実させます。

子どもの貧困対策の推進を図り、生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援、居場所の提供とともに、子ども食堂への支援、学習支援ボランティア養成を行います。

4つ目は、「医療・健康・福祉・介護の体制整備」であります。

本町の医療の充実を図るため、藤田医科大学岡崎医療センター等との相互連携強化をしてまいります。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築は重要であり、地域で支え合える認知症予防等の拡充をし、福祉介護体制の充実を図ります。

带状疱疹予防接種費用等の一部助成及び重度障害者入所施設を整備し、高齢者及び障害者の医療・福祉・介護の充実を進めます。

5つ目は、「教育環境の充実」であります。

深溝小学校・豊坂小学校の増築、内部改造等学校施設の整備、そして避難所としての機能も併せ持つ体育館の空調整備を順次進めます。

少人数学級の拡充を進めるとともに、外国語教育の推進を図ります。

スクールソーシャルワーカーの配置を充実させ、児童生徒を取り巻く生活環境に目を向け、ヤングケアラーへの適切な支援を行います。

6つ目は、「新型コロナウイルス感染症予防対策・経済回復の両立化」であります。

新型コロナワクチンの早期接種体制の強化及び医療機関との連携強化とともに、PCR検査体制の確保を進めます。

新型コロナウイルス感染症対策基金を活用するなどし、プレミアム付きうまいもんチケット等の発行及び各種緊急経済対策を促進します。

災害時における避難所等においてウィズコロナに即した、まん延防止

の環境整備を行います。

7つ目は、「産業振興・働き方改革」であります。

コロナ禍によりテレワークや在宅勤務といった新しい働き方の可能性が広がりました。就労時間に時間的制約のある人が、働きたいときに安心して働ける環境として、ITスキルを習得することにより家庭と仕事が両立できる支援をし、地域の成長に繋がります。

新たな農業の担い手となる人材を育成し、耕作放棄地対策に繋がります。また、新規就農者への支援をするとともに、地元農産物の需要拡大と知名度向上への取組強化を進めます。

土地改良事業により農業生産基盤を計画的に整備していきます。

大山池、矢尻池を始めとする、ため池の保全対策事業に取り組みます。

8つ目は、「新産業の立地支援」であります。

幅広い業務を担えるドローンの産業活用をします。さらにサービスロボットの実証実験を通して社会実装を目指します。

農業分野の担い手不足と福祉分野が求める新たな就労先を連携させることで地域の活性化に繋がります。

AI・ビッグデータ等の先端技術を活用し新たな産業を支援します。

長嶺地区工業団地立地に向け造成を行います。

9つ目は、「商工・ロケツーリズム・観光事業の推進」であります。

道の駅に宿泊滞在型拠点施設を、町内にビジネスホテル等の宿泊施設を誘致します。

空き家を活用した創業支援と中小企業への新規事業支援を行います。

タウンプロモーションの一環として、ロケ誘致を継続しロケツーリズム事業を推進します。同時に、幸田町魅力発信事業・シティセールス事業を実施することで、長期滞在や繰り返し来訪していただけるよう広域観光にも力を入れていきます。

10個目は、「多様性社会の構築・居場所づくり」であります。

健康で楽しく暮らせるよう、生きがいづくり・文化・スポーツ事業の充実を図り、新郷土博物館・新武道館・新体育館構想の計画づくりを進めます。

女性の活躍推進においては、現状把握と課題分析を行い、働き続けられる職場であるよう、定着を高めるための改善施策の実施に繋がります。

外国籍住民に対応するための多文化共生社会に向けた取組を推進し、居場所・活動拠点の場の整備のための計画づくりを進めます。

11個目は、「環境保護と持続可能な開発」であります。

坂崎・大草・荻・市場・六栗地区等の森林空間を活用した森林サービス産業として、森林セラピーの拠点づくりを推進します。

エコプラザの新設を進め、粗大ごみ集積場の借地解消を目指します。

住み続けられるまちづくり「SDGs未来都市」を目指し、V2H、PHV、EVといった新エネルギーシステム設置導入補助や、カーボンニュートラルの推進に向けた取組を展開します。

清幸園衛生処理場の将来検討を進めます。

12個目は、「DX推進・財政健全化・人材育成」であります。

行政手続のオンライン化を推進し、デジタル推進型行政改革大綱の策定を行うとともに、DX推進を確実に実現するために、デジタルに精通する人材の育成支援を行います。

教育・医療・健康・福祉・公共交通分野等において、デジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしの実現を目指します。

ふるさと納税制度をいかした地場産品による町おこしで、地域活性化を図ります。

財政健全化のために、起債の適正管理、借地の解消、そして大型事業を見据えた各種基金への計画的な積立てを行っていきます。また、指定金融機関の検証を進めます。

以上、これらの取組を実現するため、国や県はもとより隣接する市とも連携を密にしながら、持続可能な町政運営を着実に進めてまいります。

「千里の道も一歩より起る」という「老子」の言葉があります。これまでの4年間で培った前進、「前向きな精神」で、多くの人々と出会い、交流し、体験と知識を施策遂行の推進力として、ひとつずつ、一歩ずつ積み上げてまいりたいと思います。

幸田町は、愛すべき素晴らしい町です。令和6年度には幸田町町村合併70周年、そして令和7年度には第6次幸田町総合計画の総仕上げを迎えることとなります。皆様と共に、『みんなでつくる 元気な幸田』を実現するために、全力を傾注してまいる所存でありますので、議員各位を始め、町民の皆様に御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げ、就任の御挨拶といたします。

ありがとうございました。

幸田町長 成 瀬 敦